



特集 その後どのように暮らしていますか？

## 薪ストーブと庭を楽しむ暮らし

特集 その後どのように暮らしていますか？

# 薪ストーブと庭を楽しむ暮らし

ソーラータウン多摩湖町(東村山市) | 木造一戸建て(建築家と建てる家) | F邸(ご夫婦+お子様2人)



1

## ストーリー

今回ご紹介するのは、ソーラータウン多摩湖町に住んで5年が経つ、4人家族のF様の暮らし。家づくりのキッカケや現在の暮らしぶりについてお話を伺いました。

以前賃貸に住んでいた頃は家の中がとても寒く、「あったかい家に住みたい——」そう思っていたというF様ご夫婦。さらにお子様を外で安心して遊べるような環境や庭仕事ができるスペースなど、「こんな家にしたいなあ」と家づくりへの想いは日々膨らんでいきました。

※  
そんなある日、OMソーラーが紹介された雑誌を見て、相羽建設を知ったそうです。

「このソーラータウン多摩湖町では薪ストーブのある暮らしが提案されていて、薪ストーブにずっと憧れていたことや、家の境界に壁や塀などの仕切りがなく庭が広々とした様子も気に入って、家づくりをお願いすることにしたんです」と当時を振り返るF様。





## 2

### あったかい時間

ソーラータウン多摩湖町の街並みやプラン設計を担当した建築家の強谷陽さん(スネアヤキラ建築設計室)とも打ち合わせを重ね、イメージを徐々に形にしていきました。「家の真ん中にキッチンを設置した回遊性のある動線」、「何かと便利な量の小上がりスペース」、「朝早く夜遅い共働き夫婦のための足音が気にならない工夫」など、F様のご要望と強谷さんの設計アイデア、そして職人さんの手仕事が結晶して完成した、家族がゆったりと過ごせる自然素材の家。「この家に暮らしはじめて感じたのは『あったかい!』でした。無垢の杉材の床は裸足で過ごすのも気持ちいいです。あと心なしか肌の調子も良いんですよ」と笑顔の奥様。薪ストーブの上に吹き抜けをつくり2階とつなげているので、炎のじんわりとした熱が家全体をやさしく暖めてくれます。この日は薪ストーブを使った、お手製ホットケーキやシチューも作られていました。ゆっくりとした休日に家族と一緒に楽しむ、あったかい時間。



1



2



3



4



5



奥様が制作した模型

1: 吹き抜けのある1階リビング。2: 家の中心となるキッチン。3: 手作りホットケーキ。4: 色彩豊かなギャベの絨毯。5: DIY塗装した2階廊下の壁。奥は子ども部屋。



### 3 暮らしの工夫



1: 3帖ほどの畳の小上がりスペース。2: 将来家具で仕切る予定の子ども部屋。3: キッチン横のスタディースペース。4: 天窓のある洗面室。



壁に黒板塗料を塗ったお絵かきスペース

子ども部屋から見える西武園ゆうえんちの花火



### ▲ 住まいのこだわり

キッチンを中心に、玄関、リビング、洗面室、スタディースペース・・・と、つながる回遊性のある間取になっています。キッチンや小上がりは仕切り戸もついているので急な来客時にも安心。また、天窓や大きめの窓があることで、外からの光が家の中を明るくしてくれます。

### 庭でつながる 庭で楽しむ

庭仕事が好きなお様は、植物のお手入れや家の周りにバラを育てて楽しまれています。塀が無いおかげで、ご近所さん同士がお互いの庭を借景として自分の家から楽しめるのも嬉しいポイント。また、薪情報が手に入ると、ご主人自ら車で調達し庭で薪割もします。

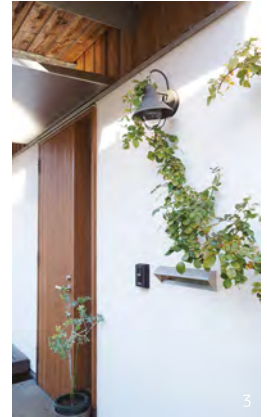


玄関アプローチを彩る美しいバラの花



薪割機で薪を割るご主人

1: 玄関土間スペース。よく見ると小さなタイルも埋め込まれています。2: 家同士をつなぐゆったりとした庭。3: 玄関アプローチ。



### 取材後記

ぐっと冷え込むこの時期だからこそ、薪ストーブやOMソーラーの暖かさにホッとします。お子様たちが絨毯の上でごろごろ遊んでいたりと、ホットケーキをつくっている様子になどみえました。そしてホットケーキとシチューまでご馳走になってしまったり(薪ストーブでつくるとこれがまた格別なのです!) 幸せなひと時を過ごさせていただきました。(記: 広報 吉川)



設計: スネヤアキラ建築設計室(強谷 陽) <http://ai-labo.info/member/suneya.html>  
 施工: 相羽建設 / 撮影取材・編集: 伊藤・吉川  
 ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



特集 その後どのように暮らしていますか？

## 東村山の自然と空間がつながる家





特集 その後どのように暮らしていますか？

# 東村山の自然と空間がつながる家

東京都 東村山市 | 木造一戸建て (i-works) | 5邸 (ご夫婦+お子様2人)



1

## ストーリー

今回で紹介するのは、2度目の薪ストーブシーズンを迎えるS様ご家族の住まい。ご夫婦の職場への通勤や、子育て環境を考えると、世田谷から東村山に引っ越ししてきました。当初は長く住むつもりはありませんでしたが、現在の住まいに近い戸建賃貸で2年ほど住んでみると、四季の移ろいを肌で感じられたり、程よい近所付き合いがあったりする東村山の環境に、家族全員心地良さを覚えるように。東村山で家づくりをはじめることになりました。他社でプランを考えるとところまで進みましたが、「何か違う」。そう感じたご夫婦は、緑が多い東村山ならではの環境を活かした家を求めていることに気づいたのです。そのイメージに近い家を探中で、相羽建設と出会いました。「緑道の木や隣の畑、小学生が通学する様子が窓から見えて、気に入っています」と奥様。プランのこだわりや現在の暮らしぶりを伺いました。



家の前を散歩するだけでも気持ち良い環境



## 炎と木の温もりに 包まれる空間

「薪ストーブを置くつもりはなかったんですけど、『薪ストーバーの集い』(\*1)で魅了されてしまって」と、笑って振り返るご主人。寒さが増してきた取材日、暖かくふわりとした空気で、我々を出迎えてくださいました。裸足で室内を駆け回るお子様も、薪ストーブがお気に入りです。薪ストーブを置くにあたり、リビングにテレビを置かないことにしました。お陰で、炎と家族の会話に集中できる空間に。キッチンも独立させ、お子様とお菓子作りができる幅を確保。一方で「将来的に、子供の宿題を見ながら料理ができるように」(奥様)と、ダイニングやスタディスペースとのつながりも持たせました。来年度小学生になるお子様。もうひとつのお気に入りというのが障子です。その意外な答えに、緑溢れる環境や自然素材の家で、豊かな感性が育てられているのだなと羨ましくなりました。障子は、お子様が破るのを覚悟して紙にしたそう。それでも「やんちゃな割に大事にしてくれています」と教えてくださる奥様の嬉しそうな笑顔が印象的でした。

(\*1 モデルハウス「つむじ」にて不定期で開催される薪ストーブ体感会)



家族で手を加えた左官壁(葉の模様)

1. リビングの主役は薪ストーブ。2.薪棚はご主人作。3.暖炉の前は特等席。
- 4.キッチンの窓からも緑や鳥が見えます。5.キッチン横のスタディスペース。

	1	
2	3	5
	4	





### 3

## 住まいのみどころ



リビングがコンサートホールに変身



親子並んで読書や趣味に熱中



廊下にも造り付けの本棚を設置



ご主人が密かに憧れていたサンドバック

### 散りばめられた 趣味の時間

音楽や読書など、趣味を多くお持ちのご夫婦。リビングは、奥様が幼い頃から弾いていたグランドピアノを置けるようにしました。スタディスペースは、勉強や作業に集中できる場所。「編み物などの途中でも、片付けずに済むのがいいですね」と奥様。

### ワンフロア完結 2階の洗濯動線



共働きで外干しが難しいため、水廻りは2階に集約し、洗濯室を設けました。衣類を洗う→干す→仕舞うの動線をコンパクトにまとめることで時短に。そして、頑張らなくても1階のくつろぐ場所が衣類で溢れない、快適な暮らしを実現しました。



1. 洗濯室の物干し竿は懸垂も可能。2. WIC横の洋室。3. ハンガーパイプを多くし、畳む手間を省略。4. 窓から風が抜ける浴室。



乾いたものから  
すぐ隣のWICへ

### 取材後記

設計担当の松本と記念撮影。ご夫婦は学生時代にオーケストラに所属されていて、撮影時には急なお願いにも関わらず、ピアノとチェロを演奏してくださいました。素敵な音色にうっとり。我々の心も豊かになる、素敵なお時間をありがとうございました♪  
(記：ライター大川)



設計・施工：相羽建設／撮影取材・編集：松本・伊藤・吉川・大川・猪股  
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>









特集 その後どのように暮らしていますか？

# 季節ごとの家時間を楽しむ暮らし

東京都小平市 | 木造一戸建て(建築家と建てる家) | T邸(ご夫婦)



庭の点検をする造園家 小林賢二さん

## 1 ストーリー

今回で紹介するのは、ご夫婦二人で仲良く暮らされているT様のお住まい。もともとこの場所に建っていた実家が老朽化していたため、ご両親とリフォームや建替えの検討をはじめたことをキッカケに、T様ご夫婦も自分たちの家づくりを考え始めるようになりました。「将来的に親の近くに住めたら安心と感じていたこともあり、できればここに2軒建てられたら良いと考えていました」とご主人。そして自身の好きな家の雰囲気を本屋さんやwebで調べていたところ『i-works project』の家づくりに興味を持ち、近隣の施工工務店である相羽建設のモデルハウス(伊礼智さん設計)へ見学に訪れたといいます。「モデルハウスでは宿泊体験もできて、こんな素敵な暮らしがあるんだ!」と衝撃を受けられたようでした。



外観



## 2

### 家時間を楽しむ

「当時は伊礼さんのことをあまり知らなかったのですが、担当スタッフの遠藤さんにいろいろお話をお伺いする中で、家づくりの考え方や作風にとっても魅力を感じ、その想いを遠藤さんにお伝えしたところ、なんとご紹介頂けたんです！建築家に家を頼むなんて、夢のまた夢だと思っていたので嬉しかったです」と笑顔でご主人。また、幼い頃からたくさんの庭の樹々や緑に囲まれて育ったというご夫婦。「家が小さくても良いので、窓から眺められる庭がほしいと思っていました。ちょうどつむじのモデルハウスで造園家の小林賢二さんの手掛けた庭を見てすごく気に入り、ぜひお願いしたいなって」。そこからT様ご夫婦の住まい設計を伊礼さん、ご両親の住まい設計を相羽建設、両家をつなぐ造園を小林さんという共同計画により完成した二つの住まい。

暮らしはじめてから2年。休みの日はゆっくりとお茶をしたり、2階リビングのデッキに腰かけながら四季折々の庭の景色を楽しむ……。なにげない、けれども特別な家時間。



▲ 今でも大事に飾っているプラン提案時の模型



2階デッキから外の景色を眺めるご夫婦



ご主人お手製の化粧箱



こだわりのハンドドリッブコーヒー



デッキとつながる1階和室



顔の見える対面キッチン



### 3 暮らしを楽しむ



2階リビング

#### ▶ シンプルに必要なものだけ

週末には共通の趣味である山登りにいくことが多いというT様ご夫婦。また自転車で山を走ったり、薪ストーブを楽しんだりと多趣味。その分道具もたくさん持っていたため、収納場所を設けることが家づくりのひとつのポイントでした。「収納スペースや庭を広くとっていたこともあり、居室はコンパクトになりましたが、居心地の良い場所がいっぱいあるんです。小上がりの畳や1階のデッキスペースでご飯を食べることもあったり、この家を無駄なくフル活用できてます」とニコリ。



玄関土間

### 見て・食べて 楽しむ庭



- 1…きれいに紅葉した植栽。
- 2…BBQも楽しめるウッドデッキ。
- 3…ご主人お手製の花差し。
- 4…一緒に取材に同行してくださった造園家の小林賢二さん。



お二人の好きな山にあるような植栽イメージで小林さんが手掛けた造園。「まちの風景として道行く人たちにも楽しんでいただけたら」というT様の想いから、塀などは設けず通りに開いたお庭へ。ワイルドストロベリーやミツバなど普通の食卓でも楽しめる植物も植えられています。

#### 取材後記

山登りが好きなT様ご夫婦。実はお二人の出会いも山だっというなんと素敵なエピソードも！そんな思い出の場所でもある、八ヶ岳の赤岳山頂からとった富士山の写真が室内に飾っており、ほっこりした気持ちになりました。現在は日本百名山制覇を目指して全国各地の山を車でまわっているそうです。現在81箇所目ということであと少し！応援しております！（記：広報 吉川）



赤岳からの風景写真



設計：伊礼智設計室 <https://irei.exblog.jp/>  
 造園：小林賢二アトリエ <https://kobayashi-atelier.com/>  
 施工：相羽建設／撮影取材・編集：伊藤・吉川・小林 <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>





特集 その後どのように暮らしていますか？

## 永く使い込む楽しみのある家



特集 その後どのように暮らしていますか？

# 永く使い込む楽しみのある家

東京都八王子市 | 新築一戸建て (i-works project 1.0) | N邸 (ご夫婦)



## 1 ストーリー

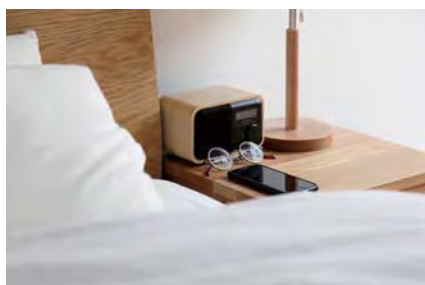
今回ご紹介するのはN様ご夫婦と2匹の猫ちゃんの暮らし。住みはじめてからちょうど1年ほど経った現在の暮らしぶりや、建築当時の家づくりについて伺いました。

お父様が建築士、おじい様が大工だったというご主人と、建築士のお仕事をしている奥様。お二人にとって "家" は身近な存在でした。そのため、自分たちが家を建てる際も愛着を込め、流行り廃りなく永く使い込めるような住まいにしたい——そんな想いがあったそうです。「いよいよ家を建てようと思って、自分で設計するか建築家さんをお願いするか迷っていたら、ちょうど本屋で伊礼さんの本に出会ったんです。『標準化』というのが私たちの価値観に合っていて良いなあって。その後『i-works project』という家があることを知り、さっそく茨城県にあるモデルハウスまで見に行ったら、もう一目惚れでした!」。



## 2

### 居心地の良い場所



統一感のある  
自然素材の空間

建築家の伊礼智さんが提案する『標準化』された家づくり。誰もが心地良いと感じる、飽きのこない住まい。



シンプルですっきりとした空間の1階リビング

▲ 壁材はビーナスコート、床は無垢の杉材を使用

吹き抜けのある、ゆったりとした1階リビング。休日には、大きな窓から外の景色を眺めつつ、薪ストーブの炎で暖まりながらソファでまったり……そんな贅沢なひと時を楽しまれているN様。家が完成してからはじめての冬を迎えて、薪ストーブを使った料理も楽しまれていました。

「改めて家づくりを振り返ると、“良いものが決まっている状態を選べる”っていう『i-works project』の特徴が私たちにはとても良かったです。トータルコストも最初から見えていたし、ここをもっとこうすればよかった!みたいな後悔もない。違和感なく住みはじめられましたよ。

あと、以前住んでいた家では猫たちが部屋を自由に行き来できなかったのですが、この子たちにとっても住みやすい家になったんじゃないかな」と笑顔でお話くださった奥様。取材中も2匹の猫ちゃんたちが薪ストーブの前で暖をとったり、元気よく走り回ったりしていました。



### 3 暮らしを楽しむ



#### 自宅でアウトドア気分

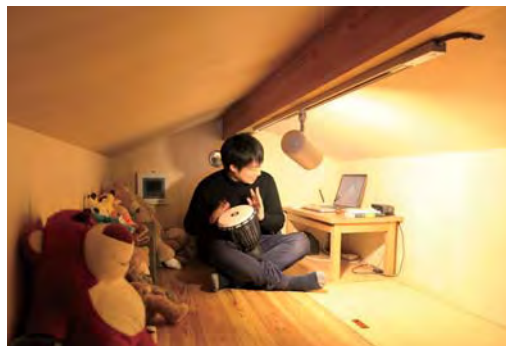
ご夫婦一緒にはじめてという趣味の山登り。家の中にはコンパクトに収納できるアウトドアグッズがたくさんありました。「山登りも道具も好きなんです。とくに使い込んだものが良くて。家も道具の延長線上にあるものだなあって思ってます」とご主人。天気の良い日はウッドデッキでお湯を沸かしてコーヒーを飲んだり、ハンモックを設置してのんびり風に揺られてみたり……家にいながら、ちょっとしたキャンプ気分を味わうことができます。



#### なにげない日常が 楽しくなる

1階はリビング、キッチン、ワークスペースなどそれぞれの場所がつながりつつも、ほどよい距離感が保たれています。また2階からつながる籠り部屋はご主人の趣味のスペースに。何気ない日常の暮らしが楽しくなる、そんなN様の住まい。

1…白をベースにした収納豊富なキッチンスペース。2…ご主人の好きなものを集めた趣味のスペース。3…家の中がじんわり暖まる薪ストーブ。



#### 取材後記

つくばのモデルハウスを見て「これと同じ家建てたい!」と感動したというN様。私自身もN様の住まいを拝見して「こんな素敵な家ならば是非私も住みたい!」と同じように感動しました。実際に五感で体感できることってやっぱり大事ですね。細かくつくり込める注文住宅の良さとはまた違う、良いと感じた家をそのまま建てられるのが企画住宅ならではの良さなのだなあと改めて感じました。(記: 広報 吉川)



設計: 伊礼智設計室 (i-works project) / 施工: 相羽建設  
撮影取材・編集: 伊藤・栗林・吉川 ainoha/バックナンバー→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>

